



世界の地域から

全羅北道淳昌郡 (大韓民国)



写真提供：全羅北道淳昌郡

カンチョンサン
大韓民国第1号の郡立公園、剛泉山

昔から玉泉の里と呼ばれ、おいしい水と豊かな穀物を生産してきた全羅北道淳昌郡。
人口3万人の小さな農村に、年間300万人もの観光客が訪れます。

年平均温度13.2℃、年間の霧の日数77日、湿度72%と、淳昌の気候条件は発酵に適しており、韓国食になくてはならない調味料「コチュジャン」のメッカとしても知られています。

= CLAIRメルマガ読者募集中！ =

観光、物産、交通、IT、環境など海外お役立ち情報満載のメールマガジンを好評配信中
右の二次元バーコード、または“CLAIRメルマガ”で検索、登録をお願いします



発酵天国（イーストピア）淳昌

マンイルサ
万日寺

地域の農産物で作った淳昌コチュジャンは、韓国国内での市場占有率の43%を占めています。

淳昌コチュジャンが有名になったのは、朝鮮王朝の太祖である李成桂が王になる前に、淳昌の回文山の万日寺に向かう途中で、ある農家で食べたコチュジャンの味を王になった後も忘れることができず、進上させたことに由来しています。



オンギ（甕）の中で熟成したコチュジャン



伝統コチュジャン民俗村

伝統醬類製造の技能を持つ54家が集まり、伝統醬の脈を引き継いでいます。



温泉水の足湯

剛泉山の近くでは、成人病に効果があるという飲用温泉水が発見され、水素を多量に含んだ淳昌の温泉水を飲みに、全国から多くの人たちが訪れています。



剛泉山の屏風の滝

高さ40mの奇岩絶壁から落ちる屏風の滝の周辺は、体にいいマイナスイオンが放出され、森の香りとともに、疲れた現代人の体と心を癒してくれます。



癒しの淳昌

金果の畑の歌（農謡）

（全羅北道無形文化財 第32号指定）

500年余り伝わってきた民衆の音楽。つらい野良仕事を楽しい音楽に昇華させ、豊年を祈ります。

